



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

## 途上国の子供現状知って

裾野市立西小、西中  
ユニセフが啓発活動

日本ユニセフ協会は、6日、本県のキャラバン・キャンペーンの一環で、ユニセフ活動の啓発教室を裾野市立西小と西中で行った。西小では全校児童672人が参加し、ビデオ上映などを通じて開発途上国の子供たちの現状に理解を深めた。

ユニセフ（国連児童基金）は全ての子どもたちの権利が守られる世界を実現するために活動する組織です

同協会学校事業部の水野真里子副部長と浅見有希子さんが講師を務めた。不衛生な水を飲んで重い下痢を患う乳児や、労働を余儀なくされ教育を受けられない児童たちの姿を映像で伝え、恵まれない環境にいる子供たちを支援するユニセフの活動の意義を強調した。命を奪つマラリアの原因となる蚊を防ぐ蚊



水がめの重さを体感する児童—裾野市立西小

帳の中に入ったり、ネパールの少女が毎日の水くみに使っている重さ約15kgの水がめを運ぶ体験も行った。  
児童を代表し、6年の宮園壮馬君と河田真菜さんは「亡くなったり、働いたりしている同じ世代の子供たちがいる。募金に協力したい」「家族と相談し、自分たちにできることを考えたい」と感想を話した。

2012年6月7日朝刊 東部版

- ① 写真の男の子が持っている水がめは何kgですか。
- ② ネパールでは毎日この水がめを、誰が、何のために使っていますか。
- ③ ユニセフの活動を調べてみましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 社会)